|  |  |
| --- | --- |
| 実験テーマ | 制御工学実験　Ⅰ  Scilabによる過渡応答シュミレーション |
| 所属・氏名  （共同実験者名は括弧内） | 熊本高等専門学校　制御情報システム工学科  　 4年 21番　氏名 下石 龍生 |
| 実験場所 | オンライン授業 |
| 実施日（第1週，第2週） | 令和 3年 5月 11日（火曜日） |
| レポート締切日 | 令和 3年 5月 17日（月曜日） |
| レポート提出日 | 令和 3年 5月 17日（月曜日） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目  （A: 達成できている，　B: 概ね達成できている，　C: ほとんど達成できていない，　D: 達成できていない） | | 自己評価  （A～D） | 担当評価  （A～D） |
| 実施評価 | 実験開始までに実験テキストや実験ノートを準備できており，事前課題がある場合は，それに取り組んでいた． | A |  |
| 担当者による指示をよく聞き，不注意による無用な誤りなく安全に実験を行うことができた． | A |  |
| 回路やプログラムを自分で作成し，グループワークの場合は自らの役割を全うするなど，課題に対して積極的に取り組むことができた． | A |  |
| 与えられた課題を時間内に達成し，結果を正確に記録または出力できた． | B |  |
| 使用器具の後片付けや実験場所の清掃をきちんと行った． | A |  |
| レポート評価 | 章立ては適切であり，それぞれの章における記載内容は**自作のものである．**引用がある場合は、その旨を明記している。 | A |  |
| 図・表の書き方は裏面の要領に準じており，**自作のものである．**（担当者が許可しない限り，指導書の図すら引用してはいけない） | A |  |
| 使用器具や実験環境について，実験結果を再現するのに十分な情報を記載している． | A |  |
| 課題に関する計測結果や出力結果を整理して記載し，結果に対する独自の考察を述べている． | A |  |
| 研究課題に取り組み，適切な参考文献を基に答えを導き出している． | B |  |

**※提出期限に遅れた場合，遅れた週の数に応じて減点する．**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施点  （50） | レポート点  （50） | **合計点**  **（100）** |